

ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i> Siebold et Zucc.	絶滅危惧I類
(環境省:絶滅危惧II類)		ヒシ科
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	植物体はヒシよりも小さく、葉身は長さ、幅とも1-2cm、長さの方がやや大きい。鋸歯は4-7対でヒシよりも粗く鋭い。葉の裏面の軟毛は少ないか殆ど無毛。花期は7-10月。花柄や萼片は無毛。果実は4本(2本の時もある)、果実の全幅は2.5cm以下。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水路などに生育する一年生の浮葉植物。	
分布状況	本州・四国・九州に分布し、岐阜県では県南中部と西部に分布する。	
減少要因	水辺環境の改修工事、増水による河道の変化、水質悪化。	
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.	

文責:清水英彦